

# 秋の江戸前を彩る



◀中ノ瀬の水  
深20メートル前後を転々と流した  
◀左トモ氏が9杯でトップ



松陽丸では胴つき仕掛けをキャストし、シャクリを繰り返して探ってもいい



▲船長が出船前に釣り方を教えてくれるから初心者も安心  
★今シーズンのスマイカは沸きがよく中ノ瀬の広範囲で乗りが見られた

## 東京湾奥川口市鹿浜橋出船 中ノ瀬で新子の乗り上々 東京湾の餌木スマイカ

撮影●訓覇啓雄



◎当日はオレンジ色の餌木によく乗った

◀ゲームロッドと小型両軸リールなど手軽なタックルで楽しめて釣り方も簡単な餌木釣法はスマイカ入門にもおすすめ



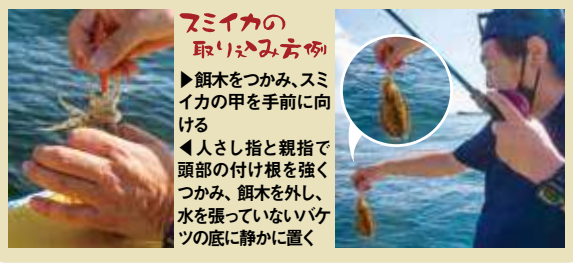
▲餌木2〜2.5号、中オモリは10号を使用

東京湾で秋〜冬に人気が高まるスマイカの釣り方には昔ながらの「テシヤ釣り」と餌木を使う通称「餌木スマイカ」がある。

10月中旬にスタートした東京湾奥川口市鹿浜橋・松陽丸は餌木スマイカで出船中。取材日は中ノ瀬の水深20メートル前後を中心に狙い、シーズン初期らしい100〜200グラムのいわゆる新子主体にトップ9杯とまずまず。

釣り方は底スレスレに餌木をキープして、シャクラずに止めて待ち、何かしらの変化を感じたら合わせる。シンプルながら独特の面白みがある餌木スマイカを楽しんでみてほしい。

(詳細は56ページ参照)



### スマイカの取りまみ方例

- ▶ 餌木をつかみ、スマイカの甲を手前に向ける
- ◀ 人さし指と親指で頭部の付け根を強くつかみ、餌木を外し、水を張っていないバケツの底に静かに置く



◎東京湾奥川口市鹿浜橋・松陽丸 間門 陽介船長